

第 1 3 5 回 幹 事 会

平成 2 3 年 9 月 2 2 日

日 本 学 術 会 議

第135回幹事会（平成23年9月22日（木））13:30～

議事次第

（公開審議）

I 前回議事要旨確認

II 諸報告

III 審議事項

1 委員会関係

提案1 東日本大震災に係る学術調査検討委員会の委員の決定

提案2 若手アカデミー委員会運営要綱の一部改正

提案3 科学者委員会運営要綱の一部改正について

提案4 国際委員会運営要綱の一部改正について

2 提言等関係

提案5 提言「法学研究者養成の危機と打開の方策－法学教育・研究の再構築を目指して－」（案）（法学委員会法学系大学院分科会）

提案6 報告「学術の大型施設計画・大規模研究計画マスタープラン2011」（案）（科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会）

提案7 報告「宇宙探査における科学について」（案）（地球惑星科学委員会COSPAR分科会）

提案8 提言「高度実践看護師制度の確立に向けて－グローバルスタンダードからの提言－」（案）（健康・生活科学委員会看護学分科会）

提案9 報告「ものづくり分野におけるスーパーコンピューティングの推進」（案）（総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会）

提案10 提言「博士研究員（ポストドク）及び任期制助教ならびに任期制助手等の現状と課題」（案）（基礎医学委員会）

提案11 提言「高等教育における環境教育の充実に向けて」（案）（環境学委員会環境思想・環境教育分科会）

提案12 提言「アジア学術共同体の基盤形成をめざして」（案）（東アジア共同体の学術基盤形成委員会）

3 国際会議等関係

提案13 平成23年度代表派遣について（平成23年10月～12月）

4 協力学術研究団体

提案14 日本学術会議協力学術研究団体の称号の取消し

5 シンポジウム等

提案15 「第2回先端フォトニクスシンポジウム」

提案16 日本学術会議主催公開学術フォーラム
「21世紀における科学と社会の新しい関係（仮）」

提案17 公開シンポジウム「大震災後の復旧から復興に向けた水産海洋の課題」

提案18 日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会

提案19 「第19回かがわけん科学体験フェスティバル」

提案20 公開シンポジウム「脳と睡眠」

7 後援

提案21 国内会議の後援

IV その他

V 非公開審議事項

1 幹事会声明

提案22 幹事会声明「東日本大震災からの復興と日本学術会議の責務」
(案)

2 委員会関係

提案23 日本学術会議栄誉会員の候補者の決定

3 その他

提案24 第22期における委員会に関する幹事会申合せ案

提案25 日本学術会議における活動の手引き

提案26 日本学術会議の活動状況等に関する年次報告（平成22年10月～平成23年9月）

資料2

第135回幹事会（9月22日）出席者一覧

会長	広渡 清吾
副会長	大垣 眞一郎
副会長	唐木 英明
第一部 部長	小林 良彰
第一部 幹事	酒井 啓子
第一部 幹事	白田 佳子
第二部 部長	浅島 誠
第二部 副部長	福井 次矢
第二部 幹事	山本 正幸
第二部 幹事	鷺谷 いづみ
第三部 部長	岩澤 康裕
第三部 幹事	池田 駿介

事務局長 齋藤 敦

諸 報 告

	ページ
第 1 前回幹事会以降の経過報告	
1 会長等出席行事	1
第 2 各部・各委員会等報告	1
1 部会の開催とその議題	1
2 幹事会附置委員会の開催とその議題	1
3 機能別委員会の開催とその議題	2
4 分野別委員会の開催とその議題	3
5 課題別委員会の開催とその議題	7
6 記録	8
6 サイエンスカフェの開催	9
7 総合科学技術会議報告	9
8 慶弔	10

第 1. 前回幹事会以降の経過報告

1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
9 月 1 日 (木)	総合科学技術会議有識者会合	広渡会長
9 月 6 日 (火)	総合科学技術会議有識者議員と原子力委員会委員との意見交換	広渡会長
9 月 8 日 (木)	総合科学技術会議有識者会合	広渡会長
9 月 10 日 (土) ～11 日 (日)	国際微生物連合 2011 会議 ※挨拶	広渡会長
9 月 10 日 (土) ～15 (日)	ブータン学術機関等との会合	唐木副会長、白田第一部幹事
9 月 14 日 (水)	持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2011 ※開会挨拶	広渡会長
9 月 15 日 (木)	総合科学技術会議有識者会合	広渡会長
9 月 15 日 (木)	計測自動制御学会創立 50 周年記念事業 ※祝辞	広渡会長
9 月 16 日 (金)	持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2011 ※閉会挨拶	唐木副会長
9 月 20 日 (火)	CIGR 国際シンポジウム 2011 ※主催者挨拶	唐木副会長

(注) 部会、委員会等を除く。

第 2. 各部・各委員会報告

1 部会の開催とその議題

(1) 第一部拡大役員会 (第 16 回) (9 月 22 日)

①第 21 期の総括 ②その他

(2) 第三部拡大役員会 (第 40 回) (9 月 22 日)

①次期会長候補者について ②申し送り事項について ③その他

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

(1) 東日本大震災対策委員会放射線の健康への影響と防護分科会役員会 (第 2 回)
(9 月 2 日)

①分科会として発信する情報の検討
・柴田副委員長案 ・幹事案

②その他

(2) 国際人権ネットワーク対応委員会 (第 21 期・第 3 回) (9 月 5 日)

- ① 副委員長の指名等について
- ② これまでの委員会における審議対応等について
- ③ 国際人権ネットワークからの対応要請と対応状況について
- ④ 国際人権ネットワークから対応要請中のアラートその他について
- ⑤ 日本学術会議における国際人権ネットワークへの対応等について
- ⑥ 今後の委員会の体制について

(3) 東日本大震災対策委員会放射線の健康への影響と防護分科会 (第 3 回)
(9 月 9 日)

- ①活動計画
 - 1) Q&A 2) 公開セミナー 3) 提言 4) その他
- ②今期活動のまとめ ③その他

(4) 東日本大震災対策委員会被災地域の復興グランド・デザイン分科会
(第 7 回) (9 月 14 日)

- ①提言案の取りまとめについて
- ②今後の進め方について

3 機能別委員会の開催とその議題

(1) 科学と社会委員会 (第 17 回) (9 月 2 日)

- ①提言公表後のフォローアップの方策
- ②査読体制の改善について
- ③課題別委員会の進捗状況報告、今期末における処理、申し送りについて
- ④その他

(2) 科学者委員会 学協会の機能強化方策検討等分科会 (第 14 回)、学術団体の
あり方に関する調査研究小委員会 (第 8 回) 合同会合 (9 月 12 日)

- ①学術誌の著作権に関する現状と問題点について
- ②今後の検討課題について ③その他

(3) 科学者委員会 (第 49 回) (9 月 14 日)

- ①日本学術会議協力学術研究団体称号取り消しについて
- ②日本学術会議科学者委員会第 22 期の在り方について
- ③「日本学術会議における活動の手引き」について
- ④男女共同参画分科会報告「学術における男女共同参画推進の加速に向けて」に

について

- ⑤日本学術会議主催学術フォーラム「社会における科学者の役割（仮）」について
- ⑥九州・沖縄地区会議学術講演会の開催について
- ⑦その他

(4) 国際委員会（第11回）（9月17日）

- ①22期に向けた国際委員会に置かれる分科会等の存廃等について
- ②日本学術会議の国際活動の手引き
- ③アジア学術会議モンゴル会合について
- ④持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2011について
- ⑤最近のICSU（国際科学会議）関係の活動について
- ⑥二国間交流について

(5) 科学と社会委員会年次報告等検討分科会（第13回）（9月22日）

- ①年次報告書（案）について
- ②その他

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

(1) 法学委員会「グローバル化と法」分科会（第13回）（9月4日）

- ①次期分科会への引き継ぎ
- ②その他

(2) 哲学委員会（第11回）（9月18日）

- ①シンポジウムの総括について
- ②22期への引き継ぎ事項について
- ③その他

(3) 哲学委員会人文知と臨床哲学分科会（第5回）（9月18日）

- ①シンポジウムの総括について
- ②22期への引き継ぎ事項について
- ③その他

第二部担当

(1) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同細胞生物学分科会（第4回）

基礎医学委員会形態・細胞生物医科学分科会（第4回）合同会議（9月2日）

- ①今後の活動方針、第22期に向けて
- ②その他

(2) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物物理学分科会（第2回）

（9月10日）

- ① 21期活動の反省
- ② 学術フォーラムの最終打ち合わせ ③ 今後の活動方針 ④ その他

(3) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会・食料科学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会・薬学委員会合同実験動物分科会 (第3回) (9月14日)

- ① 日本学術会議ガイドライン等のフォローアップ ② その他

(4) 臨床医学委員会老化分科会 (第3回) (9月14日)

- ① 9月14日の公開シンポジウムについて
- ② 提言の出版・配布について
- ③ 日本老年医学会公式英文誌 Geriatrics and Gerontology International への投稿について
- ④ 今後の活動について ⑤ その他

(5) 農学委員会・食料科学委員会合同 I U S S 分科会 (第7回) (9月16日)

- ① 第21期の活動の概要について
- ② I U S S 中間会議に向けた新役員の推薦方法について
- ③ 第22期への申し送り事項について ④ その他

(6) 健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会 (第15回) (9月20日)

- ① 男女共同参画WGからの報告書の内容：飯田委員
- ② 子どもを元気にするWG提言後の課題：大築委員
- ③ ターミノロジーWG：寒川委員
- ④ 若手研究者育成WG：栗原委員
- ⑤ 運動と心WG：杉原委員
- ⑥ サイエンスカフェ：跡見委員
- ⑦ 日本スポーツ体育健康科学学術連合関係：高松委員 ⑧ その他

(7) 心理学・教育学委員会、臨床医学委員会、健康・生活科学委員会、環境学委員会、土木工学・建築学委員会合同子どもの成育環境分科会 (第22回)

- (9月20日)
- ① 提言のまとめ ② 学術フォーラムの開催準備 ③ その他

(8) 農学委員会農業生産環境工学分科会 (第11回) (9月21日)

- ① 公開シンポジウム「地球環境・気候変動と農業環境工学」について
- ② 今後の分科会の方針 ③ その他

(9) 基礎医学委員会、健康・生活科学委員会合同パブリックヘルス科学分科会 (第13回) (9月22日)

- ① 提言のフォローアップについて

- 1)「公衆衛生大学院」について
- 2)「社会健康格差」について
- 3)「勤務医の労働時間と過重労働」について
- 4)「健康食品」について
- ②第22期に向けて第21期分科会からの申し送り ③その他

第三部担当

- (1) 地球惑星科学委員会国際対応分科会 SCOSTEP 小委員会 (第8回)・STPP 小委員会 (第8回) (8月29日)
 - (SCOSTEP 小委員会)
 - ①第21期日本学術会議「地球惑星科学委員会国際対応分科会 SCOSTEP 小委員会」のまとめ
 - ②第22期日本学術会議「地球惑星科学委員会国際対応分科会 SCOSTEP 小委員会」委員について
 - ③CAWSES-II International Symposium in 2003 (CAWSES-2013) について
 - ④学術会議より加盟金に関するアンケート
 - ⑤その他
 - (STPP 小委員会)
 - ①第21期日本学術会議「地球惑星科学委員会国際対応分科会 STPP 小委員会」のまとめ
 - ②第22期日本学術会議「地球惑星科学委員会国際対応分科会 STPP 小委員会」委員について
 - ③UN/ISWI 国際事業 (2010-2012) の 2012 年の WS、School と 2013 年以降の対応について
 - ④UN/長期的宇宙活動持続WG (2012-2014) の日本の貢献と対応について
 - ⑤その他
- (2) 情報学委員会セキュリティ・ディペンダビリティ分科会 (第8回) (9月2日)
 - ①次期の分科会について ②次期への申し送り事項 ③その他
- (3) 総合工学委員会原子力事故対応分科会原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会 (第4回) (9月9日)
 - ①10Kmマップの取り扱い
 - ②国連チェルノブイリ・フォーラム環境報告書に関する件
 - ③植松先生のお話し ④22期への引き継ぎ事項 ⑤その他
- (4) 地球惑星科学委員会 IMA 分科会 (第6回) (9月10日)
 - ①報告事項

- 1) IMA 国内委員会の活動報告
- 2) 今後のコミッションの活動計画
- ②審議事項
 - 1) Elements への対応
 - 2) 開催予定の国際会議について：2016M&M, 2014AOGS（札幌）
 - 3) 鉱物科学の現状と課題について
- (5) 地球惑星科学委員会（第7回）（9月12日）
 - ①学術の大型研究について
 - ②各分科会活動報告
 - 1) 地球・惑星圏分科会
 - 2) 地球・人間圏分科会
 - 3) 社会貢献分科会
 - 4) 国際対応分科会
 - 5) その他の分科会
 - ③日本地球惑星科学連合からの報告
 - ④東日本大震災について ⑤第21期の活動総括と課題 ⑥その他
- (6) 地球惑星科学委員会地球惑星科学企画分科会（第16回）（9月12日）
 - ①学術の大型研究計画について
 - ②東日本大震災について
 - ③活動総括および課題について ④その他
- (7) 総合工学委員会巨大複雑系社会経済システムの創成力を考える分科会（第12回）（9月12日）
 - ①第21期活動の最終報告 ②来期体制等に対する意見交換 ③その他
- (8) 地球惑星科学委員会地球・惑星圏分科会（第9回）（9月12日）
 - ①学術会議をめぐる最近の動向について
 - ②学術会議22期の活動に向けて ③大型研究のとりまとめについて
 - ④その他
- (9) 機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同IUTAM分科会（第6回）（9月15日）
 - ①第60回理論応用学講演会報告 ②第61回理論応用力学講演会企画
 - ③国際学術団体との対応に関する意見について ④21期活動報告について
 - ⑤その他
- (10) 基礎医学委員会・総合工学委員会合同放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科研究用原子炉のあり方検討小委員会（第6回）（9月16日）

- ①研究炉に関する論点整理
- ②次期へ引き継ぐ審議事項について

(11) 土木工学・建築学委員会河川流出モデル・基本高水評価検討等分科会
(第12回)(9月20日)

- ①回答書提出への経緯 ②国土交通省への要請とその回答
- ③公開説明会の準備について ④その他

(12) 総合工学委員会・土木工学・建築学委員会合同WFEO分科会(第14回)
(9月20日)

- ①WEC2011の参加報告 ②WEC2015への準備
- ③その他

(13) 環境学委員会自然環境保全再生分科会(第5回)(9月21日)

- ①復興国立公園の計画策定について
- ②愛知目標の具体的取組について ③その他

(14) 地球惑星科学委員会 SCOR 分科会(第8回)(9月22日)

- ①SCOR 執行理事会の報告
- ②地球惑星科学委員会と他委員会との連携
学術会議大型研究計画、SCOR 分科会の共同運営、東日本大震災など
- ③時期分科会への申し送り事項 ④その他

(15) 総合工学委員会・機械工学委員会合同フロンティア人工物分科会(第6回)
(9月22日)

- ①今回の活動のまとめ ②その他

5 課題別委員会の開催とその議題

(1) 科学・技術を担う将来世代の育成方策検討委員会(第6回)(9月5日)

- ①記録(案)について ②その他

(2) 大学教育の分野別質保証推進委員会拡大役員会(第3回)(9月6日)

- ①今後の方向性について ②その他

(3) 大学教育の分野別質保証推進委員会言語・文学分野の参照基準検討分科会
(第2回)(9月12日)

- ①言語・文学分野の参照基準について(加藤委員、藤本委員からのヒアリング)
- ②その他

(4) 大学教育の分野別保証質推進委員会法学分野の参照基準検討分科会 (第2回)
(9月13日)

- ①大学の大衆化に対応した法学教育について ②法学分野の参照基準について
③その他

(5) 大学教育の分野別質保証推進委員会学位に付記する専攻分野の名称の在り方
検討分科会 (第3回) (9月20日)

- ①各国の学位制度について ②報告書構成案について ③その他

(6) 大学教育の分野別質保証推進委員会 (第2回) (9月22日)

- ①今後の検討の方向性について ②その他

6 記録

第一部関係

作成日										委員会等名	委員会No	標題
平成	2	3	年	0	9	月	2	0	日	史学委員会 歴史認識・歴史教育に関する分科会	21350700	第21期 史学委員会 歴史認識・歴史教育に関する分科会記録

第二部関係

作成日										委員会等名	委員会No	標題
平成	2	3	年	0	9	月	0	2	日	健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会	21470200	健康・スポーツ科学関連分野の学術研究団体における男女共同参画に関する調査結果(第2報)
平成	2	3	年	0	9	月	0	2	日	健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会	21470200	第21期日本学術会議健康・スポーツ科学分科会活動記録 文部科学省主催 サイエンスカフェ
平成	2	3	年	0	9	月	2	0	日	基礎生物学委員会・統合生物学委員会・食料科学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会・薬学委員会合同実験動物分科会	21451100	実験動物、動物実験に関わる法令、指針、ガイドラインに対する関係各省および団体の取組み状況について

第三部関係

作成日										委員会等名	委員会No	標題
平成	2	3	年	0	9	月	1	1	日	化学委員会 化学者コミュニティ連携強化検討分科会	21540600	化学者コミュニティ連携強化に向けて
平成	2	3	年	0	9	月	1	1	日	基礎医学委員会・総合工学委員会合同放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会	21551100	放射線作業員の被ばくの一元管理を実現するための具体的な方法

課題別委員会

作成日										委員会等名	委員会No										標題
平成	2	2	年	0	9	月	1	5	日	自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会	2	1	9	1	0	0	0	0	0	0	「自然災害軽減のための国際協力のあり方」－ 中間報告（記録）－
平成	2	2	年	0	9	月	1	3	日	科学・技術を担う将来世代の育成方策検討委員会	2	1	9	7	0	0	0	0	0	0	科学・技術を担う将来世代の育成方策
平成	2	2	年	0	9	月	2	2	日	高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会	2	1	9	5	0	0	0	0	0	0	高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会審議記録
平成	2	2	年	0	9	月	2	2	日	研究にかかわる「評価システム」の在り方検討委員会	2	1	9	8	0	0	0	0	0	0	研究にかかわる「評価システム」の在り方検討委員会審議記録

7 サイエンスカフェの開催

日 時：9月22日 19：00～20：30

場 所：文部科学省情報ひろばラウンジ

テーマ：「体験で脳は育つ」

講 師：金澤 一郎（日本学術会議連携会員、国際医療福祉大学大学院院長）

ファシリテータ：室伏 きみ子（日本学術会議会員、お茶の水女子大学大学院教授）

8 総合科学技術会議報告

1. 本会議

なし

2. 専門調査会

なし

3. 総合科学技術会議有識者議員会合

9月1日 会長出席

9月8日 会長出席

9月15日 会長出席

9 慶弔

・ ご逝去

和達 三樹（わだち みき） 66歳 9月15日
第20、21期連携会員 東京理科大学教授

審 議 事 項

		頁
Ⅲ 審議事項		1
1 委員会関係	提案1 東日本大震災に係る学術調査検討委員会の委員の決定	1
	提案2 若手アカデミー委員会運営要綱の一部改正	2
	提案3 科学者委員会運営要綱の一部改正について	4
	提案4 国際委員会運営要綱の一部改正について	6
2 提言等関係	提案5 提言「法学研究者養成の危機と打開の方策－法学教育・研究の再構築を目指して－」（案）（法学委員会法学系大学院分科会）	11
	提案6 報告「学術の大型施設計画・大規模研究計画マスタープラン2011」（案）（科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会）	12
	提案7 報告「宇宙探査における科学の重要性について」（案）（地球惑星科学委員会COSPAR分科会）	13
	提案8 提言「高度実践看護師制度の確立に向けて－グローバルスタンダードからの提言－」（案）（健康・生活科学委員会看護学分科会）	14
	提案9 報告「ものづくり分野におけるスーパーコンピューティングの推進」（案）（総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会）	15
	提案10 提言「博士研究員（ポストドク）及び任期制助教ならびに任期制助手等の現状と課題」（案）（基礎医学委員会）	16
	提案11 提言「高等教育における環境教育の充実に向けて」（案）（環境学委員会環境思想・環境教育分科会）	17
	提案12 提言「アジア学術共同体の基盤形成をめざして」（案）（東アジア共同体の学術基盤形成委員会）	18
3 国際会議等関係	提案13 平成23年度代表派遣について（平成23年10月～12月）	19
4 協力学術研究団体	提案14 日本学術会議協力学術研究団体の称号の取消し	21
5 シンポジウム等	提案15 「第2回先端フォトニクスシンポジウム」	22
	提案16 日本学術会議主催公開学術フォーラム「21世紀における科学と社会の新しい関係（仮）」	24
	提案17 公開シンポジウム「大震災後の復旧から復興に向けた水産海洋の課題」	25
	提案18 日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会	27
	提案19 「第19回かがわけん科学体験フェスティバル」	29
	提案20 公開シンポジウム「脳と睡眠」	31
7 後援	提案21 国内会議の後援	33

1	
幹事会	1 3 5

提 案

東日本大震災に係る学術調査検討委員会の委員の決定について

1. 提案者 会長、第一部部長、第二部部長、第三部部長
2. 議 案 委員の決定
3. 提案理由 東日本大震災に係る学術調査検討委員会の委員を決定するため。

記

○委員の決定（1件）

（東日本大震災に係る学術調査検討委員会）

氏名	所属・職名	備 考
大垣 眞一郎	国立環境研究所理事長	副会長 第三部会員
秋田 喜代美	東京大学大学院教育学研究科教授	第一部会員
碓井 照子	奈良大学文学部地理学科教授	第一部会員
鷲谷 いずみ	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員
岩澤 康裕	電気通信大学 燃料電池イノベーション 研究センター長・特任教授	第三部会員
平 朝彦	海洋研究開発機構理事・地球深部探査セ ンター長	第三部会員
濱田 政則	早稲田大学理工学術院 社会環境工学科 教授	第三部会員
福田 裕穂	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員

2	
幹事会	1 3 5

提 案

若手アカデミー委員会運営要綱の一部改正について

- 1 提 案 者 若手アカデミー委員会委員長
- 2 議 案 若手アカデミー委員会の運営要綱の一部改正
- 3 提案理由 わが国における若手科学者によるアカデミー活動を実践しつつ、わが国における若手アカデミーの創設に関する事項を審議する目的のため、若手アカデミー委員会の運営要綱の一部を改正する。

若手アカデミー委員会運営要綱（平成 21 年 6 月 25 日日本学術会議第 79 回幹事会決定）を次のように改正する。次表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。（案）

改正後	改正前						
（設置） 第 1 若手アカデミー委員会（以下「委員会」という。）は、日本学術会議会則第 2 5 条に基づく委員会として幹事会に附置する。 （任務） 第 2 委員会は、若手<u>科学者</u>による<u>アカデミー活動を実践しつつ、我が国における若手アカデミーの創設</u>に関する事項を審議する。 （組織） 第 3 委員会は、会長の指名する会員及び連携会員をもって組織する。	（設置） 第 1 若手アカデミー委員会（以下「委員会」という。）は、日本学術会議会則第 2 5 条に基づく委員会として幹事会に附置する。 （任務） 第 2 委員会は、若手<u>研究者</u>による若手アカデミーの<u>在り方</u>に関する事項を審議する。 （組織） 第 3 委員会は、<u>会長、副会長及び各部の役員又は会長の指名する会員若しくは連携会員</u>をもって組織する。 <u>（分科会）</u> 第 4 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。 <table><tr><th>分科会</th><th>調査審議事項</th><th>構成</th></tr><tr><td>若手アカデミー活動検討分科会</td><td>わが国における若手アカデミー活動の可能性を多角的に調査研究し、今後の若手アカデミー活動の具体的な計画案を検討する。</td><td>2 0 名以内の会員又は連携会員</td></tr></table>	分科会	調査審議事項	構成	若手アカデミー活動検討分科会	わが国における若手アカデミー活動の可能性を多角的に調査研究し、今後の若手アカデミー活動の具体的な計画案を検討する。	2 0 名以内の会員又は連携会員
分科会	調査審議事項	構成					
若手アカデミー活動検討分科会	わが国における若手アカデミー活動の可能性を多角的に調査研究し、今後の若手アカデミー活動の具体的な計画案を検討する。	2 0 名以内の会員又は連携会員					
（設置期限） 第 4 委員会は、<u>平成 2 6 年</u> 9 月 3 0 日まで置かれるものとする。 （庶務） 第 5 委員会の庶務は、事務局参事官（<u>国際業務担当</u>）の協力を得て、事務局参事官（<u>審議第一担当</u>）において処理する。 （雑則） 第 6 この要綱に定めるもののほか、議事の手続きその他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。	（設置期限） 第 5 委員会は、<u>平成 2 3 年</u> 9 月 3 0 日まで置かれるものとする。 （庶務） 第 6 委員会の庶務は、事務局参事官（<u>審議第一担当及び国際業務担当</u>）において処理する。 （雑則） 第 7 この要綱に定めるもののほか、議事の手続きその他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。						

附 則 （平成 2 3 年 9 月 2 2 日日本学術会議第 1 3 5 回幹事会決定）
この決定は、決定の日から施行する。

3	
幹事会	1 3 5

提 案

科学者委員会運営要綱の改正について

- 1 提案者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 学術統計検討分科会等の廃止に伴い科学者委員会運営要綱を別紙のとおり改正することとしたい。
- 3 提案理由 「学術統計検討分科会」は日本の展望の「基礎科学の長期展望分科会」での審議において学術統計データの重要性が認識されたことを機にアドホックに設置されたもので、今期、提言「学術統計の整備と活用に向けて」を取りまとめたことにより、当初のミッションは一応達成されたものと思われる。
 今後は、更なる審議・検討もさることながら、提言に盛り込まれた事項の実現に向けたフォローアップに注力すべきであり、従って、来期に関しては、一旦は終了して、審議すべき新たな課題が明確になったところで、必要に応じてアドホックの分科会を立ち上げることが妥当ではないかと考える。
 また、学協会の公益機能検討小分科会についても、第21期中に開催実績がなく、役割を終えたとして廃止することとしたい。

科学者委員会運営要綱（平成１７年１０月４日日本学術会議第１回幹事会決定）の一部について次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分を削除若しくは、これに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分ように改める。

改正後

(分科会)
第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。

分科会 (略)	調査審議事項 (略)	構成 (略)
学協会の機能強化 方策検討等分科会	学協会の機能強化に 資する方策の検討等 に関すること	各部の2名以内の会 員及び委員会の3名 以内の委員並びに幹 事会が必要と認める 会員又は連携会員若 干名
<u>(廃止)</u>		
学術団体の あり方に関 する調査研 究小委員会	学術団体のあり方に関 する調査研究に関 すること	20名以内の会員、連 携会員又は会員若し くは連携会員以外の もの
(略)	(略)	(略)
<u>(廃止)</u>		

(庶務)
第3 委員会の庶務は、事務局企画課において処理する。ただし、学術体制分科会、
学術の大型研究検討分科会、学術誌問題検討分科会及び知的財産検討分科会の庶務
は、事務局参事官（審議第二担当）において処理する。

改正前

(分科会)
第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。

分科会 (略)	調査審議事項 (略)	構成 (略)
学協会の機能強化 方策検討等分科会	学協会の機能強化に 資する方策の検討等 に関すること	各部の2名以内の会 員及び委員会の3名 以内の委員並びに幹 事会が必要と認める 会員又は連携会員若 干名
<u>学協会の公 益機能検討 等小分科会</u>	<u>学協会の公益機能の 検討等に関すること</u>	<u>副会長（日本学術会議 会則第5条第1号担 当）及び分科会の長が 必要と認める会員又 は連携会員20名以 内</u>
学術団体の あり方に関 する調査研 究小委員会	学術団体のあり方に関 する調査研究に関 すること	20名以内の会員、連 携会員又は会員若し くは連携会員以外の もの
(略)	(略)	(略)
学術統計検討分科 会	学術統計の検討に関 すること	20名以内の会員、連 携会員又は会員若し くは連携会員以外の 者

(庶務)
第3 委員会の庶務は、事務局企画課において処理する。ただし、学術体制分科会、
学術の大型研究検討分科会、学術誌問題検討分科会、知的財産検討分科会及び学術
統計検討分科会の庶務は、事務局参事官（審議第二担当）において処理する。

附 則
この決定は、決定の日から施行する。

4	
幹事会	1 3 5

提 案

国際委員会運営要綱の一部改正について

- 1 提 案 者 国際委員会委員長
- 2 議 案 標記について、別紙案のとおり決定すること。
- 3 提案理由 国際委員会において分科会等について見直しを行い、その結果として、分科会等の改廃、構成員の変更等を行うため。

国際委員会運営要綱（平成１７年１０月４日日本学術会議第１回幹事会決定）の一部を次のように改正する。次表により、改正前欄の掲げる規定をこれに対応する改正後の欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改 正 後				改 正 前			
別表 1				別表 1			
分 科 会	調査審議事項	構 成	備 考	分 科 会	調査審議事項	構 成	備 考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
<u>(廃止)</u>				<u>日英学術交流分科会</u>	<u>日本学術会議と英国学術機関との二国間学術交流の実施に関する</u> こと	<u>副会長（日本学術会議会則第５条第３号担当）並びに委員長が必要と認める会員又は連携会員２５名以内</u>	
アジア学術会議分科会	アジア学術会議（SCA）の在り方等の検討及び活動の推進に関すること	副会長（日本学術会議会則第５条第３号担当）及び各部推薦の会員各２名以内並びに委員長が必要と認める会員又は連携会員若干名を合わせて10名以内		アジア学術会議分科会	アジア学術会議（SCA）の在り方等の検討及び活動の推進に関すること	副会長（日本学術会議会則第５条第３号担当）及び各部推薦の会員各２名並びに委員長が必要と認める会員又は連携会員若干名	
<u>(廃止)</u>				<u>G 8 学術会議分科会</u>	<u>G 8 各国の学術会議が行う共同提案等の活動に関する</u> こと	<u>会長及び副会長（日本学術会議会則第５条第３号担当）並びに委員長が必要と認める会員又は連携会員若干名</u>	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
<u>(廃止)</u>				<u>I C S U 分科会</u>	<u>国際科学会議（ICSU）への対応に関する</u> こと	<u>副会長（日本学術会議会則第５条第３号担当）及び委員長が必要と認める会員又は連携会員１０名以内</u>	

G 8 及び I C S U 等分科会	G 8 各国の学術会議が行う共同提案等の活動にすること及び国際科学会議（I C S U）等への対応にすること	会長及び副会長（日本学術会議会則第 5 条第 3 号担当）並びに委員長が必要と認める会員又は連携会員 1 0 名以内	
(略)	(略)	(略)	(略)
I A L S 分科会	法学国際協会（I A L S）への対応にすること	分野別委員会運営要綱において定める。	法学委員会「グローバル化と法」分科会と兼ねる
(略)	(略)	(略)	(略)
I M U 分科会	国際数学連合（I M U）への対応にすること	分野別委員会運営要綱において定める。	数理科学委員会と兼ねる。
(略)	(略)	(略)	(略)

別表2

小 分 科 会	調査審議事項	構 成	備 考
第12回SCA会合担当小分科会	SCA会合の内容及び活動の検討と開催国の支援	アジア学術会議分科会委員 1 名並びにアジア学術会議分科会委員長が必要と認める会員又は連携会員	アジア学術会議分科会に置く。 設置期間：平成23年10月1日～24年12月31日

(新規)			
(略)	(略)	(略)	(略)
I A L S 分科会	法学国際協会（I A L S）への対応にすること	分野別委員会運営要綱において定める。	法学委員会「IALS・国際学術交流」分科会と兼ねる
(略)	(略)	(略)	(略)
I M U 分科会	国際数学連合（I M U）への対応にすること	分野別委員会運営要綱において定める。	数学委員会 I M U 分科会と兼ねる。
(略)	(略)	(略)	(略)

別表 2

小 分 科 会	調査審議事項	構 成	備 考
(新規)			

<u>(廃止)</u>			
(略)	(略)	(略)	(略)
<u>(廃止)</u>			
<u>(廃止)</u>			
<u>(廃止)</u>			
<u>(廃止)</u>			

<u>S C A 共同プロジェクト小分科会</u>	<u>日本提案の個々の S C A 共同プロジェクトの推進</u>	<u>アジア学術会議分科会委員 1 名並びにアジア学術会議分科会委員長が必要と認める会員又は連携会員</u>	<u>アジア学術会議分科会に置く。</u>
(略)	(略)	(略)	(略)
<u>ICSU 対応小分科会</u>	<u>国際科学会議 (ICSU) 対応に関して、具体的な取り組み・活動方策に係ること</u>	<u>委員会の委員 3 名以内並びに委員長が必要と認める会員又は連携会員 1 0 名以内</u>	
<u>第 1 回世界加速器会議小分科会</u>	<u>第 1 回世界加速器会議の開催に係る準備及び運営等</u>	<u>国際会議主催等検討分科会委員 1 名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員</u>	<u>国際会議主催等検討分科会に置く。</u>
<u>第 21 回 IUPAC 化学熱力学国際会議小分科会</u>	<u>第 21 回 IUPAC 化学熱力学国際会議の開催に係る準備及び運営等</u>	<u>国際会議主催等検討分科会委員 1 名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員</u>	<u>国際会議主催等検討分科会に置く。</u>
<u>第 9 回 プラトン・シンポジウム小分科会</u>	<u>第 9 回 プラトン・シンポジウムの開催に係る準備及び運営等</u>	<u>国際会議主催等検討分科会委員 1 名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員</u>	<u>国際会議主催等検討分科会に置く。</u>
<u>第 14 回 国際免疫学会議小分科会</u>	<u>第 14 回 国際免疫学会議の開催に係る準備及び運営等</u>	<u>国際会議主催等検討分科会委員 1 名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員</u>	<u>国際会議主催等検討分科会に置く。</u>

<u>(廃止)</u>			
<u>(廃止)</u>			
<u>(廃止)</u>			
(略)	(略)	(略)	(略)
ワールドスリープ2011小分科会	ワールドスリープ2011の開催に係る準備及び運営等	国際会議主催等検討分科会委員1名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員	国際会議主催等検討分科会に置く。 設置期間：平成22年7月1日～23年12月31日

第23回国際霊長類学会大会小分科会	第23回国際霊長類学会大会の開催に係る準備及び運営等	国際会議主催等検討分科会委員1名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員	国際会議主催等検討分科会に置く。
第7回国際整形外科基礎学術集会小分科会	第7回国際整形外科基礎学術集会の開催に係る準備及び運営等	国際会議主催等検討分科会委員1名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員	国際会議主催等検討分科会に置く。
第29回国際臨床神経生理学学会小分科会	第29回国際臨床神経生理学学会の開催に係る準備及び運営等	国際会議主催等検討分科会委員1名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員	国際会議主催等検討分科会に置く。
(略)	(略)	(略)	(略)
ワールドスリープ2011小分科会	ワールドスリープ2011の開催に係る準備及び運営等	国際会議主催等検討分科会委員1名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員	国際会議主催等検討分科会に置く。 設置期間：平成22年7月1日～23年9月30日

附 則 この決定は、平成23年10月1日から施行する。

5	
幹事会	1 3 5

提 案

提言「法学的研究者養成の危機と打開の方策
—法学教育・研究の再構築を目指して—」

- 1 提 案 者 法学委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 提言「法学的研究者養成の危機と打開の方策—法学教育・研究の再構築を目指して—」を別添のとおり取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと。

6	
幹事会	1 3 5

提 案

報告「学術の大型施設計画・大規模研究計画マスタープラン 2011」

1. 提案者 科学者委員会委員長
2. 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
3. 提案理由 科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会において、これまで審議してきた結果を別添のとおり取りまとめたので、報告としてこれを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第2条第4号の「報告」として取り扱うこと

7	
幹事会	1 3 5

提 案

報告「宇宙探査における科学の重要性について」

- 1 提 案 者 地球惑星科学委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 地球惑星科学委員会 COSPAR 分科会において、これまで審議してきた結果を別添のとおり取りまとめたので、報告としてこれを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第2条第4号の「報告」として取り扱うこと

8	
幹事会	1 3 5

提 案

提言「高度実践看護師制度の確立に向けてーグローバルスタンダードからの提言ー」

- 1 提 案 者 健康・生活科学委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 提言「高度実践看護師制度の確立に向けてーグローバルスタンダードからの提言ー」を別添のとおり取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと。

9	
幹事会	1 3 5

提 案

報告「ものづくり分野におけるスーパーコンピューティングの推進」

- 1 提 案 者 総合工学委員会委員長、機械工学委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと
工学設計分科会において、これまで審議してきた結果を別添のとおり
取りまとめたので、報告としてこれを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第2条第4号の「報告」として取り扱うこと

10	
幹事会	1 3 5

提 案

提言「博士研究員（ポストドク）及び任期制助教ならびに任期制助手等の現状と課題」

- 1 提 案 者 基礎医学委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 提言「博士研究員（ポストドク）及び任期制助教ならびに任期制助手等の現状と課題」を別添のとおり取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと。

11	
幹事会	1 3 5

提 案

提 言「高等教育における環境教育の充実に向けて」

- 1 提 案 者 環境学委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 提言「高等教育における環境教育の充実に向けて」を別添のとおり取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと

12	
幹事会	1 3 5

提 案

提言「アジア学術共同体の基盤形成をめざして」

- 1 提 案 者 東アジア共同体の学術基盤形成委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 提言「アジア学術共同体の基盤形成をめざして」を別添のとおり取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと。

13	
幹事会	1 3 5

提 案

平成 2 3 年度代表派遣について（平成 2 3 年 1 0 月～1 2 月）

1 提 案 者 会 長

2 議 案 標記について、別紙のとおり実施すること。

3 提案理由 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第 1 9 条の規定に基づくものである。

<参考>「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」（抄）

（派遣者の選考）

- 第 1 9 条** 会長及び関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画に基づき、代表を派遣すべき会議等（以下「代表派遣会議」という。）のそれぞれの内容等に応じて、学術会議会員（以下「会員」という。）の中から適任者を選考し、様式第 7 に定める代表派遣会議候補者推薦書により派遣候補者を会長に推薦するものとする。ただし、学術会議連携会員（以下「連携会員」という。）の中に適任者があると認められる場合は、その者を候補者として推薦することができる。
- 2 会長は、前項の規定により推薦された派遣候補者について、原則として代表派遣会議が開始される日の 1 か月前までに開かれる幹事会の議決を経た上、学術会議の代表として派遣される者（以下「派遣者」という。）として派遣するものとする。

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
			計			
1	アジア社会科学研究協議会連盟 第19回隔年総会・大会	10月16日	4 日	マナド	白田 佳子 第一部会員	第一部国際協力分科会 第1区分
		10月19日		インドネシア	筑波大学大学院 ビジネス科学研究科 教授	
2	アジア社会科学研究協議会連盟 第19回隔年総会・大会	10月16日	4 日	マナド	小谷 汪之 第一部会員	第一部国際協力分科会 第1区分
		10月19日		インドネシア	東京都立大学名誉教授	
3	純正及び応用物理学国際連合(IUPAP)総会	10月31日	6 日	ロンドン	酒井 英行 連携会員	IUPAP分科会 第1区分
		11月5日		英国	独立行政法人 理化学研究所 仁科加速器研究センター 共用促進・産業連携部 部長	
4	国際地理学連合2011年国際地理学会議	11月12日	7 日	サンチャゴ	氷見山 幸夫 連携会員	IGU分科会 第2区分
		11月18日		チリ	北海道教育大学 教育学部 教授	
5	国際社会科学団体連盟・隔年年次総会	11月18日	3 日	バタンガス	小松 照幸 連携会員	第一部国際協力分科会 第1区分
		11月20日		フィリピン	名古屋学院大学 経済学部 准教授	

14	
幹事会	1 3 5

提 案

日本学術会議協力学術研究団体の称号の取消し

1. 提 案 者 会 長
2. 議 案 日本学術会議協力学術研究団体の称号の取消し
3. 提 案 理 由 日本学術会議協力学術研究団体のうち、連絡先等が不明となったものについて、日本学術会議協力学術研究団体規定第6項により下記のとおり称号の取消しをおこなうこととしたい。

記

- 日本学術会議協力学術研究団体の称号を取消す
(団体名)
 - ・アイリス英語教育学会
 - ・日本獣医針灸学研究会

〈参考〉

日本学術会議協力学術研究団体規定

第6 第4項の届出がない等の理由により連絡先等が不明となった場合又は協力学術研究団体が第1項に規定する要件を満たさなくなったと会長が認める場合は、会長は、幹事会の議を経て当該学術研究団体に付与した称号を取り消すことができるものとする。この場合において、会長は、科学者委員会に意見を求めるものとする。

15	
幹事会	1 3 5

提 案

「第2回先端フォトニクスシンポジウム」の開催について

1. 提案者 総合工学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催：日本学術会議 総合工学委員会 I C O分科会
2. 共 催：応用物理学会、電子情報通信学会、日本物理学会（予定）
3. 後 援：IEEE Photonics Society Tokyo Chapter（予定）
4. 日 時：平成23年10月7日（金）13：00～17：00
5. 場 所：日本学術会議講堂、会議室
6. 分科会の開催：I C O分科会
7. 開催趣旨：

「光」というキーワードをもつ各学会の最先端の話題を集めた講演会を開催し、光科学のインパクトやイノベーションを国内にアピールすると共に、光量子科学技術分野において、次世代を担う若手研究者の育成、新しい産業やコミュニティの創生を推進する。
8. 次 第：

13:00 主催者挨拶 後藤俊夫（第三部副部長、中部大学）

矢川元基（第三部会員・総合工学委員会委員長、東洋大学）

来賓御挨拶 文部科学省（予定）

13:15 招待講演 香取秀俊（東京大学）「光格子時計（仮題）」

13:50 招待講演 小池康博（慶應義塾大学）「ポリマーフォトンクス（仮題）」

14:25 招待講演 兒玉了祐（大阪大学）「超高強度レーザ物理（仮題）」

15:00 招待講演 中沢正隆（東北大学）「超高速光通信（仮題）」

15:35 休憩

15:50 若手研究者によるポスタープレビュー

16:50 閉会挨拶 荒川泰彦（第三部会員・ICO分科会委員長、東京大学）

（以後、ポスターセッションおよび懇談）

9. 関係部の承認の有無：

10. 申し込み方法：連絡先

定員 300 名、参加費無料

下記 URL から事前登録をして下さい。

<http://www.nanoquine.iis.u-tokyo.ac.jp/scj/>

11. 問合せ先

伊東 一良（大阪大学）itoh@mls.eng.osaka-u.ac.jp

※第116回幹事会（2月24日）において承認されたシンポジウムの日程が変更されたもの。

16	
幹事会	1 3 5

提 案

日本学術会議主催公開学術フォーラム
「21世紀における科学と社会の新しい関係（仮）」の開催について

- 1 テーマ 「21世紀における科学と社会の新しい関係（仮）」
- 2 日時 平成23年11月7日（月）16時30分～18時30分
- 3 場所 日本学術会議講堂
- 4 開催趣旨 海洋生態系の研究者であり、生物多様性、人間の健康、経済、科学者の社会的責任、国の安全保障の間の密接な関係を示し、科学者と社会の間の「科学者の社会契約」という考え方を提唱したジェーン・ルブチェンコ博士（米国商務省次官、米国海洋大気局（NOAA）局長）の来日の際し、同博士に御講演頂き、科学と社会の関係の在り方について考える。
- 5 次第（案）
 - （1）開会挨拶（10分） ※日本学術会議会員又は連携会員
 - （2）ジェーン・ルブチェンコ博士講演（30分）
「科学に関する新しい社会契約（仮）」
 - （3）吉川弘之先生講演（30分）
「科学、統合的知性の創造のために
ー東日本大震災と科学者ー（仮）」
 - （4）会場とのディスカッション（45分）
 - （5）閉会挨拶（5分） ※日本学術会議会員又は連携会員

17	
幹事会	1 3 5

提 案

公開シンポジウム「大震災後の復旧から復興に向けた水産海洋の課題」の開催について

1. 提案者 食料科学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること

記

1. 主 催 : 日本学術会議食料科学委員会（水産学分科会（予定））、
水産海洋学会
2. 日 時 : 平成23年11月13日（日） 9:00－16:00
3. 場 所 : 函館市公民館（北海道函館市青柳町12-17）
4. 分科会の開催：開催予定

5. 開催趣旨：

2011年3月11日に発生した大地震と東北太平洋沿岸を襲った巨大津波による甚大な被害からの復興については、漁業者や水産関係者に対する明確な復興計画の提示が急務であり、その内容とスピードが漁業および漁村の存亡を左右するといっても過言ではない。震災から半年以上が経過し、一部の漁業や養殖が始まった状況で、新たに問題が表面化してきていることが推察される。また海洋環境も、調査が進む中で予想外の現象が把握されてくるであろう。本シンポジウムでは、震災から半年の間の海洋環境、海洋生物、漁業の経過・推移、および水産業全体と漁村が直面している問題を整理することによって、復旧から復興に向けた調査研究の課題を議論し、学術の立場から復興に対する水産海洋学の役割を模索する。

6. 次 第

9:00～9:05 水産海洋学会会長挨拶

桜井泰憲（北海道大学大学院水産科学研究院教授、水産海洋学会会長）

9:05～9:15 開会挨拶と趣旨説明

齊藤誠一（日本学術会議連携会員・北海道大学大学院水産科学研究院教授）

9:15-11:15

1. 漁船漁業と増養殖業の復興へ向けての問題点

（座長：高津哲也（北海道大学大学院水産科学研究院教授））

- 1-1. 漁業の水揚げ状況と問題点（カツオ・サンマ）
中園博雄・二平章（漁業情報サービスセンター研究員）
- 1-2. 漁業の水揚げ状況と問題点（サケ、タラ類）
後藤友明（岩手県水産技術センター研究員）
- 1-3. 三陸沿岸の養殖業の準備状況と問題点
酒井敬一（宮城県気仙沼水産試験場研究員）
- 1-4. 北海道におけるホタテガイ養殖場の被害状況と復興
宮澤晴彦（北海道大学大学院農学研究院准教授）

11:20-11:50, 13:00-14:00

2. 海洋環境の回復過程とモニタリング

（座長：齊藤誠一（日本学術会議連携会員・北海道大学大学院水産科学研究院教授））

- 2-1. 沖合海洋環境の回復過程
伊藤進一（東北水産研究所研究員）
- 2-2. 沿岸環境の回復過程
吾妻行雄・青木優和・遠藤 光（東北大学大学院農学研究科教授）
- 2-3. 練習船を活用した復興支援教育・研究活動の提案
高津哲也（北海道大学大学院水産科学研究院教授）

14:10-15:10

3. 社会科学からの提言

（座長：宮澤晴彦（北海道大学大学院農学研究院准教授））

- 3-1. 北まき受け入れ体制の回復・復興過程
牧野光琢（中央水産研究所研究員）
- 3-2. 漁村・水産業の復興と地域資源の持続的利用
山尾政博（日本学術会議特任連携会員・広島大学大学院生物圏科学研究科教授）

15:10-15:55

総合討論

座長 和田時夫（中央水産研究所所長、日本学術会議オブザーバー）・齊藤誠一（日本学術会議連携会員・北海道大学大学院水産科学研究院教授）・片山知史（東北大学大学院農学研究科教授）

15:55-16:00

閉会挨拶 帰山雅秀（日本学術会議特任連携会員・北海道大学大学院水産科学研究院教授）

7. 関係部の承認の有無：第二部承認

18	
幹事会	1 3 5

提 案

日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会の開催について

- 1 提案者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記講演会を下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議九州・沖縄地区会議
2. 共 催 大分大学（ほか、大分県立看護科学大学，大分県立芸術文化短期大学，大分工業高等専門学校，日本文理大学，別府大学，立命館アジア太平洋大学へ共催依頼予定）
3. 日 時 平成23年11月25日（金曜日） 14：00～16：30
4. 場 所 大分全日空ホテルオアシスタワー 5階 孔雀の間
（〒870-0029 大分市高砂町 2-48 電話：097-533-4411（代表））
5. テーマ 「生命科学から見た健康長寿への道」
6. 次 第 （司会進行：日本学術会議九州・沖縄地区会議 吾郷 眞一代表幹事）

（1）開会挨拶

- ◎大分大学長 羽野 忠
- ◎日本学術会議 会長または副会長挨拶（未定）

（2）主催者挨拶

日本学術会議 九州・沖縄地区会議 吾郷 眞一代表幹事
九州大学大学院法学研究院教授

（3）学術講演会の演題及び演者

- 1) 講演「ピロリ菌感染の長寿・健康に及ぼす影響」
大分大学医学部 環境予防医学講座 教授 山岡 吉生

- 2) 講演「健康長寿のための医療機器開発 ―東九州メディカルバレー構想関連―」

大分大学医学部長 教授 野口 隆之

― 休憩 ―

- 3) 講演「(メタボに関する講演：タイトル未定)」

日本学術会議連携会員

京都大学大学院医学研究科内科講座／内分泌代謝内科 教授 中尾 一和
(日本肥満学会理事長)

- 4) 講演「(加齢に関する講演：タイトル未定)」

同志社大学生命医科学研究科 アンチエイジングリサーチセンター 教授 米井
嘉一 (日本抗加齢医学会事務局長)

- 5) 講演「(がんに関する講演：タイトル未定)」

日本学術会議会員

慶應大学総合医科学研究センター 特任教授 広橋 説雄
(国立がんセンター前総長、日本対がん協会前会長)

19	
幹事会	1 3 5

提 案

「第19回かがわけん科学体験フェスティバル」の開催について

1. 提 案 者 科学と社会委員会委員長
2. 議 案 標記イベントを下記のとおり開催すること。
3. 提案理由 「第19回かがわけん科学体験フェスティバル」は、参加者が体験を通して科学を身近に感じることのできる催事であり、科学と社会委員会科学力増進分科会の審議内容である、「国民の科学力増進に関すること」に資するため。

記

1. 主 催 科学体験フェスティバル実行委員会、香川大学、
日本学術会議
(財)四国産業・技術振興センター、
(財)日本科学技術振興財団・科学技術館
2. 共 催 香川県、(財)かがわ産業支援財団
3. 後 援 香川県教育委員会、高松市教育委員会、
香川県小学校教育研究会理科部会、
香川県中学校教育研究会理科部会及び技術・家庭科部会、
香川県高等学校教育研究会理化部会、生地部会及び工業部会、
四国経済連合会 ほか
4. 協 賛 四国電力株式会社高松支店
5. 日 時 平成23年11月12日(土)～13日(日) 10:00～16:00
6. 会 場 香川大学教育学部体育館・研究交流棟
(高松市幸町1番地1号)
問合せ先：物理学準備室 087-832-1612
7. 次第等

開催趣旨 かがわけん科学体験フェスティバルは、主として香川県内の児童生徒の、科学や技術に対する関心を高めるとともに、様々な自然体験をとおして、人間としての成長をはかることを目的に、平成5年度から、毎年、開催してきた科学体験行事である。この企画は、香川県下の理科教育に関わる先生がたを中心に、県、教育委員会、大学、産業界の支援と協力によって実行し、県の年中行事として、すでに定着している。昨今の理科教育をめぐる諸事情をふまえ、広く各方面のご意見を伺いつつ、更なる発展をめざし、その内容を充実させていきたい。

主な内容（予定）

11月12日（土）

9：50～10：00 開会式

（挨拶：実行委員長、一井眞比古（日本学術会議連携会員・香川大学学長）、柴田徳思（日本学術会議連携会員・科学と社会委員会科学力増進分科会委員）、香川県教育委員会教育長、香川県中学校教育研究会理科部会長）

10：00 開場（16：00まで）

小学校教員 2ブース

中学校教員・中学生 5ブース

高校教員・高校生 8ブース

大学生 6ブース

企業 3ブース

サイエンスボランティア 2ブース

その他 2ブース

13：00～14：00 日本学術会議ミニ講演（研究交流棟）

柴田徳思（日本学術会議連携会員・科学と社会委員会科学力増進分科会委員）

11月13日（日）

10：00 開場（16：00まで）

小学校教員 2ブース

中学校教員・中学生 5ブース

高校教員・高校生 8ブース

大学生 6ブース

企業 3ブース

サイエンスボランティア 2ブース

その他 2ブース

8. 分科会の開催 なし

9. その他 本件イベントを主催することについては、中国・四国地区会議運営協議会において承諾を得ている。

20	
幹事会	1 3 5

提 案

公開シンポジウム「脳と睡眠」の開催について

1. 提案者 心理学・教育学委員会委員長、基礎医学委員会委員長、臨床医学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること

記

1. 主 催 日本学術会議心理学・教育学委員会（脳と意識分科会（予定））、基礎医学委員会（神経科学分科会（予定））、臨床医学委員会（脳とこころ分科会（予定））、独立行政法人国立精神・神経医療研究センター、東北大学グローバルCOEプログラム「脳神経科学を社会へ還流する教育研究点」、日本ワーキングメモリー学会
2. 後援(予定)：（財）精神・神経医療研究振興財団
3. 日 時 平成23年12月10日（土）13：00～17：40
4. 場 所 日本学術会議講堂
5. 分科会 分科会開催予定
6. 開催趣旨

本シンポジウムは日本学術会議心理学・教育学委員会脳と意識分科会（委員長 荻阪直行）、基礎医学委員会神経科学分科会（委員長 大隅典子）及び臨床医学委員会脳とこころ分科会（委員長 樋口輝彦）の3分科会が連携して広く一般に「脳と心」の問題を先端的脳研究を通して知っていただくために5年前より年1回開催してきた。これまで「脳と高齢社会」、「脳と心の発達」、「社会性脳」など本邦の現状に即した問題を取り上げてきた。今年は、最近一般にも関心を持たれている話題として睡眠と脳のかかわりを取り上げることとする。

7. 次 第

総合司会 樋口輝彦（日本学術会議第二部会員、脳とこころ分科会委員長、国立精神・

神経医療研究センター理事長・総長)

開会挨拶 大隅典子（日本学術会議第二部会員、神経科学分科会委員長、東北大学大学院医学系研究科発生発達神経科学分野教授）

1 部 司会：大隅典子（日本学術会議第二部会員、神経科学分科会委員長、東北大学大学院医学系研究科発生発達神経科学分野教授）

櫻井 武（金沢大学大学院医学系・分子神経科学・統合生理学分野教授）

「睡眠と覚醒をあやつる機構と脳内物質」

上田泰己（理化学研究所発生・再生科学総合研究センター機能ゲノミクスユニットリーダー）

「時間の生命科学」

2 部 司会：苅阪直行（日本学術会議第一部会員、脳と意識分科会委員長、京都大学大学院文学研究科教授）

本間さと（北海道大学大学院医学研究科特任教授）

「睡眠リズム発生のメカニズム」

立花直子（関西電力病院神経内科・睡眠関連疾患センター長）

「夢の発現機構—レム睡眠行動異常症（REM sleep behavior disorder, RBD）の臨床経験から考える—」

三島和夫(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神生理研究部長)
(演題未定)

井上雄一(東京医科大学睡眠学講座教授、公益財団法人神経研究所附属睡眠学センター 長)

(演題未定)

閉会挨拶 苅阪直行（日本学術会議第一部会員、脳と意識分科会委員長、京都大学大学院文学研究科教授）

8. 関係部の承認の有無：第一部承認、第二部承認

21	
幹事会	1 3 5

提 案

国内会議の後援について

- 1 提 案 者 会長
- 2 議 案 後援の依頼について回答すること。
- 3 提案理由 下記の会議について、後援の依頼があり、関係する部等に審議付託した結果を下記のとおり回答することとしたい。

記

○後援する

名 称 等	申 請 者	審議 付託先
日本体操学会第 11 回大会 ① 主催：日本体操学会 ② 期間：平成 23 年 10 月 8 日～10 日 ③ 場所：自由学園（東京都東久留米市）	日本体操学会 会 長 古川善夫	一部 二部